授業科目名・形態	社会福祉概論Ⅱ　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	平林朋子	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	W3-1001spR				

【授業の主題】

社会福祉概論Ⅰに続き、社会福祉を学ぶ上での基礎的知識を学んでいく。本講義では社会福祉という思想が、政策として形作られ、サービスとして必要としている人たちに届けられるまでの過程を理解することを主題とする。また、諸外国の現状を学ぶことを通して、我が国の在り方を検討し考察できることも課題とする。

【到達目標】

1.社会福祉が政策となり、サービスとして供給される過程を理解する。
2.諸外国の政策を学ぶことを通して、我が国の社会福祉の在り方を理解する。

【授業計画・内容】

第1回　オリエンテーション
第2回　ニーズ（必要）
第3回　資源（リソース）
第4回　福祉政策の構成要素
第5回　福祉政策の過程と評価
第6回　福祉政策と包括的支援の現状
第7回　福祉政策と包括的支援の課題
第8回　福祉供給部門
第9回　福祉供給過程
第10回　福祉利用過程
第11回　国際比較の視点と方法
第12回　福祉政策の動向：欧米
第13回　福祉政策の動向：東アジア
第14回　福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題　これからの社会福祉
第15回　まとめ

【授業実施方法】

講義形式とし、講義の最後に「リアクションペーパー」を作成し、提出する。

【事前・事後学習】

・教科書の講義内容に関する部分を読み、不明点を調べる等、事前学習を2時間以上行うこと
・講義内容を踏まえ、復習・考えの整理を毎回2時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

「社会福祉概論Ⅰ」「貧困に対する支援」

【教科書等】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『社会福祉の原理と政策』中央法規、2021年

【参考文献】

講義内で都度紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験　80%　リアクションペーパー　15%　講義への取り組み　5%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療ソーシャルワーカーとして長年、医療の現場で働いてきた経験を通し、何故、社会福祉を理解することが重要であるのかを自分の体験を通した実例をあげながら理解できるよう伝えていく。

【学生へのメッセージ】

社会福祉概論Ⅰで学んだ思想・理論が実際にサービスとして届く為にいるのが、社会福祉領域で働くソーシャルワーカーです。本講義を通してソーシャルワーカーとして働いていく場がどの様な基盤で出来上がっているのかを理解していければと思います。